

黙示録 17 章「緋の衣を着た女と緋色の獣」

17:1 また、七つの鉢を持つ七人の御使いのひとりが来て、私に話して、こう言った。「ここに来なさい。大水の上にすわっている大淫婦へのさばきを見せましょう。 17:2 地の王たちは、この女と不品行を行い、地に住む人々も、この女の不品行のぶどう酒に酔ったのです。」 17:3 それから、御使いは、御霊に感じた私を荒野に連れて行った。すると私は、ひとりの女が緋色の獣に乗っているのを見た。その獣は神をけがす名で満ちており、七つの頭と十本の角を持っていた。 17:4 この女は紫と緋の衣を着ていて、金と宝石と真珠とで身を飾り、憎むべきものや自分の不品行の汚れでいっぱいになった金の杯を手を持っていた。 17:5 その額には、意味の秘められた名が書かれていた。すなわち、「すべての淫婦と地の憎むべきものとの母、大バビロン」という名であった。 17:6 そして、私はこの女が、聖徒たちの血とイエスの証人たちの血に酔っているのを見た。私はこの女を見たとき、非常に驚いた。 17:7 すると、御使いは私にこう言った。「なぜ驚くのですか。私は、あなたに、この女の秘義と、この女を乗せた、七つの頭と十本の角とを持つ獣の秘義とを話してあげましょう。 17:8 あなたの見た獣は、昔いたが、今はいません。しかし、やがて底知れぬ所から上って来ます。そして彼は、ついには滅びます。地上に住む者たちで、世の初めからいのちの書に名を書きしるされていない者は、その獣が、昔はいたが、今はおらず、やがて現れるのを見て驚きます。 17:9 ここに知恵の心があります。七つの頭とは、この女がすわっている七つの山で、七人の王たちのことです。 17:10 五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとは、まだ来ていません。しかし彼が来れば、しばらくの間とどまるはずです。 17:11 また、昔いたが今はいない獣について言えば、彼は八番目でもありますが、先の七人のうちのひとりです。そして彼はついには滅びます。 17:12 あなたが見た十本の角は、十人の王たちで、彼らは、まだ国を受けてはいませんが、獣とともに、一時だけ王の権威を受けます。 17:13 この者どもは心一つにしており、自分たちの力と権威とをその獣に与えます。 17:14 この者どもは小羊と戦いますが、小羊は彼らに打ち勝ちます。なぜならば、小羊は主の主、王の王だからです。また彼とともにいる者たちは、召された者、選ばれた者、忠実な者だからです。」 17:15 御使いはまた私に言った。「あなたが見た水、すなわち淫婦がすわっている所は、もろもろの民族、群衆、国民、国語です。 17:16 あなたが見た十本の角と、あの獣とは、その淫婦を憎み、彼女を荒廃させ、裸にし、その肉を食い、彼女を火で焼き尽くすようになります。 17:17 それは、神が、みことばの成就するときまで、神のみこころを行う思いを彼らの心に起こさせ、彼らが心一つにして、その支配権を獣に与えるようにされたからです。 17:18 あなたが見たあの女は、地上の王たちを支配する大きな都のことです。」

導入

黙示録 17-18 章には「バビロン」が登場します。

バビロンは、旧約聖書時代の古代都市です。

イエス・キリストの再臨直前には、宗教や国際貿易のシステムが旧約聖書のバビロンのようになります。

17 章の学びに入る前に、終末の時代に栄えるこの都市とそのシステムに関する背景を理解しておく必要があります。

では、創世記 11 : 1-9 を読みましょう。

11:1 さて、全地は一つのことば、一つの話しことばであった。 11:2 そのころ、人々は東のほうから移動して来て、シヌアルの地に平地を見つけ、そこに定住した。 11:3 彼らは互いに言った。

「さあ、れんがを作ってよく焼こう。」彼らは石の代わりにれんがを用い、粘土の代わりに瀝青を用いた。 11:4 そのうちに彼らは言うようになった。「さあ、われわれは町を建て、頂が天に届く塔を建て、名をあげよう。われわれが全地に散らされるといけないから。」 11:5 そのとき

【主】は人間の建てた町と塔をご覧になるために降りて来られた。 11:6 【主】は仰せになった。「彼らがみな、一つの民、一つのことばで、このようなことを始めたのなら、今や彼らがしようと思うことで、とどめられることはない。 11:7 さあ、降りて行って、そこで彼らのことばを

混乱させ、彼らが互いにことばが通じないようにしよう。」 11:8 こうして【主】は人々を、そこから地の全面に散らされたので、彼らはその町を建てのをやめた。 11:9 それゆえ、その町の名はバベルと呼ばれた。【主】が全地のことばをそこで混乱させたから、すなわち、【主】が人々をそこから地の全面に散らしたからである。

大洪水の後、人間は自分たちの名を上げようとしてきました。この動きは、ノアのひ孫であるニムロデから始まりました。ニムロデは、ニネベの町を作りました。このニネベは、ヨナが預言者として裁きを告げるよう遣わされた邪悪な町です。

ニムロデは、「バベルの塔」の建設に関わっていました。この塔はジググラトと呼ばれました。異教の祭司たちはジググラトに登って星の観測をしました。今日も、この宗教は存在します。

その宗教では、星座を読みます。日本では、ショッピングモールなどで星座占いなどをする占い師を見かけます。これもサタンの罠ですから、気をつけてください。

将来を占ってもらおうと、このような所に行かないでください。

その人たちは、世界最古の宗教を今も売り込んでいるのです。

英国ではこういった占い師はおもにインターネットで商売をします。

創世記には、神が人々の言語を混乱させることによって、この宗教を厳しく裁かれたと記されています。

神に逆らった結果、人々は世界中に散り散りになりました。神が言語を混乱させられたからです。この時から、人々の言語はひとつではなくなりました。

ある意味で、すべての偽りの宗教はバビロンに由来すると言えます。

そして、終末時代には、この宗教の形式が再び勢力を増します。

マルクスの「宗教は民衆のアヘン」という発言は有名ですが、宗教は人を動かすドラッグのようだという意味です。

この発言はある意味で真実です。

神は私たちを「礼拝者」としてお造りになりました。

唯一まことの聖書の神を礼拝しなければ、人は他の誰かまたは何かを崇拝します。

宗教とは、唯一まことの神に対する礼拝を他のものにすり替えようとする人間の試みです。

大阪の人にとってその対象は、阪神タイガースやガンバ大阪などの地元スポーツチームかもしれません。

私は以前、ロンドンで奉仕していた教会の近所の人たちに福音を分かち合おうとしました。すると、ある男性は、「私の宗教は、サッカーチームのウェストハムだ」と言いました。正直な言葉です。

私たちが人生で一番大事にするものは、何でも宗教になり得ます。

偽りの宗教は、終末時代に重大な役割を果たします。

ですから、現在から未来にかけて、すべての宗教がひとつになる動きが徐々に進んでいくでしょう。

17章では、「緋の衣を着た女」と「緋色の獣」が登場します。

17章をわかりやすく説明するために、4つの質問に答えるかたちで進めていきます。

その4つの質問とは、女の正体は何か、女は何をしているのか、女の運命は何か、そして、この女に惑わされないためにはどうすればよいか、です。

1. この女の正体。

この女の正体がわかる事柄がいくつか記されています。

1節には、「大水の上にすわっている大淫婦」とあります。

「遊女」という単語を用いる聖書の訳もあります。

聖書の中で「大淫婦」とか「遊女」という単語は、偽りの宗教や偶像礼拝、または背信などを指す比喻表現としてよく使われます。

イザヤ 1:21 どうして、遊女になったのか、忠信な都が。公正があふれ、正義がそこに宿っていたのに。今は人殺しばかりだ。

ホセア 4 : 15-16

4:15 イスラエルよ。あなたは姦淫をしても、ユダに罪を犯させてはならない。ギルガルに行ってはならない。ベテ・アベンに上ってはならない。「【主】は生きておられる」と言っ
て誓ってはならない。4:16 まことに、イスラエルはかたくなな雌牛のようにかたくなだ。
しかし今、【主】は、彼らを広い所にいる子羊のように養う。

5 節には、女の名前が額に記されているとあります。

黙示録 17:5 その額には、意味の秘められた名が書かれていた。すなわち、「すべての淫婦
と地の憎むべきものとの母、大バビロン」という名であった。

女の名前は略して「大バビロン」と言えるでしょう。

18 節は、ヨハネが見た女は地上の王たちを支配する大きな都のことであると語ります。
女の名前は「大バビロン」です。「バビロン」は黙示録 18 章で実際の都市として少なく
とも 5 回登場します。

(黙示録 18 : 2,10,16,18,19,21)

終末時代には、世界宗教の拠点として大きな町が作られると考えられます。

ローマカトリック教におけるローマのような存在です。

この町が世界のどこに作られるかはわかりません。

古代都市バビロンがあった場所に作られる可能性もあります。

バビロンのあった場所は水際でした。バビロンの美しい園に水を絶やさないためです。

多くの聖書学者は、将来作られる町の場所がローマだと考えています。そして、昔のロー
マ帝国のような帝国が起こるのでは、と考えています。

ただし、実際のところはわかりません。それを言い当てるのはそれほど重要ではありません。

重要なのは、私たちが今置かれている時代について理解することです。

私たちが生きているのは、偽りの宗教に心を開く人が日ごとに増加している時代です。

結論

この女の正体は、将来作られる大都市です。この大都市は、ひとつの世界的宗教の象徴と
なります。

たくさんの水がある古代都市バビロンのあった場所に作られる可能性もありますが、他の
場所の可能性もあります。

2. 女は何をしているのか。

17 章には、女が積極的に行っていることを 5 つ挙げています。

a) 世界の指導者たちを惑わす。(2 節)

終末時代には、世界中の指導者が偽りの宗教に惑わされます。そして、ひとつの世界的
宗教に酔うようになります。

すでに現在、世界の指導者は神を信じず、偽りの宗教を信奉する人たちです。現在、
クリスチャンが指導者である国は非常に稀です。

現在、少なくとも 50 カ国の国家元首がイスラム教徒です。その国はすでに偽りの宗教
に酔っているわけです。

サタンはすでにその国の人々を欺いています。

英国では、ロンドンの市長と 4 名の現職国会議員がイスラム教徒です。

世界支配というのはイスラム教の教えであり、それを力づくでも、欺いてでも実現し
ようとするでしょう。

17章が20年以内に現実になることも想像に難くありません。
私たちの務めは、人々が偽りの宗教に惑わされないように救うことです。
あなたはその課題に取り組む気がありますか。

b) 未信者を惑わす。(2節)

2節には、世に住む人々もこの女の不品行のぶどう酒に酔ったとあります。
ですから、世界中のすべての人々が、このひとつの世界的宗教を信じるよう誘惑されます。
エレミヤ 51:7 は、これについて預言しています。

エレミヤ 51:7 バビロンは【主】の御手にある金の杯。すべての国々はこれに酔い、
国々はそのぶどう酒を飲んで、酔いしれた。

この箇所は、全世界がこのひとつの世界的宗教を信じるようになって、狂ったようになると語ります。
世界中がこの宗教を信じるように惑わされる姿が目に見えようです。
現在、世界の約4分の1がイスラム教という偽りの宗教に惑わされています。
英国でも、2020年までには教会で礼拝するクリスチャンよりもモスクで祈るイスラム教徒のほうが多くなると予測されています。
残念ながら、英国はすでにイスラム教に身を売ってしまったのです。
これはおもに、国家の指導責任によるものです。
世界中で起こるすべての事柄は、私たちの生きる現在においても、ひとつの世界的宗教に向かって確実に動いていっています。
英国では、この数年で500軒の教会が閉鎖され、代わりに500軒のモスクが新設されました。
現代社会には大きな課題があります。それは、耳を傾けてくれる人たちにクリスチャンが明確に福音を知らせることです。
それは、私たち OIC にも与えられた課題です。
祈りと福音宣教は私たちに与えられたふたつの力強い武器です。今日のメッセージの後、この地域のために祈る時間を取りたいと思います。

c) 女は「反キリスト者」とともに働く。

3節には、女が緋色の獣に乗っているとあります。
獣は13-14章ですでに登場しました。
これは宗教をとおして人々をひとつにする「反キリスト者」です。
女と獣は一時共存しますが、16節を見ると、その関係が崩れます。

17:16 あなたが見た十本の角と、あの獣とは、その淫婦を憎み、彼女を荒廃させ、裸にし、その肉を食い、彼女を火で焼き尽くすようになります。

ここで、反キリスト者と世界各国の指導者たちがこれまでにないほど強く結束することがわかります。

d) 女は魅力的にしようと懸命に努める。(4節)

4節には、女が紫と緋の衣を着ていたと語ります。これらの色は、王族、繁栄、富などを象徴する色です。(士師記 8:26、箴言 31:22)

e) 女は信徒たちを殺す。(6節)

偽りの宗教は殺人者です。その裏にはサタンがいるからです。

ヨハネ 8:44 あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと願っているのです。悪魔は初めから人殺しであり、真理に立ってはいません。彼のうちには真理がないからです。彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです。

使徒の働きから始まった教会史には、偽りの宗教がイエス・キリストを心から信じる人々に対してつらい仕打ちをしてきたことが示されています。過去約 10 年間で 90 万人ものクリスチャンが信仰のために殉教しています。悪魔はイスラム教をとおして現在非常に活発に働いています。女はすでにこの世でその働きを始めています。ですから、私たちはイスラム教国家にいるクリスチャンのために祈らなければなりません。

3. 女に何が起こるのか。

最終的には、獣がこの女を滅ぼすとあります。（16 節）

それ自体は良い知らせですが、反キリスト者は自らを神と崇められるように仕向けます。

4. 女に惑わされないためには。

人間的な話をすれば、遊女に誘惑されたくなければ、遊女のいそうな場所に行かないことです。

現在、多くの娼婦がインターネット上で商売をしています。ですから、インターネットの誘惑には気をつけましょう。

終末の時代には、人々をひとつの世界的宗教へと誘う上で、インターネットが大きな役割を果たすと私は思います。

最近の若い人たちは、スマホやタブレットなしの生活は考えられないようです。

けれども、インターネット上にはたくさんの偽りの宗教が存在します。

聖書の学びも、インターネットからではなく、聖書から学ぶようにしてください。

情報源を必ず確認しましょう。

私たちは常に、自分の信仰を形作っているのは聖書だろうか、それとも人間だろうかと自問しなければなりません。

もちろん、純粋に聖書を教え、神やみことばの理解を助けてくれる聖書学者もたくさんいます。

しかし、聖書に聖書を教えてもらうのが一番です。

学びを助けてくれる人もいますが、聖書を読んで、聖書の他の個所から直接聖書を解釈できるようにするのに近道はありません。

私たちの信仰が聖書に深く根ざしているなら、他の宗教に惑わされる可能性は低くなります。

「エホバの証人」と呼ばれる偽りの宗教も、もともとはクリスチャンから始まったものです。そして長年かけて、もとはクリスチャンだった多くの人々を誘い込んでいきました。彼らは、偽りの教えに惑わされてしまったのです。

みことばにあるとおり、この女はとても魅力的だからです。

今日のメッセージはいつもより短いので、皆さんといっしょに祈る時間を持ちたいと思います。玉造・森ノ宮の地域のために一緒にお祈りください。

6 月と 7 月にイベントもありますので、それについても覚えてお祈りください。

6 月 18 日 レディース・ミーティング特別集会

7 月 9 日 伝道イベント

25 人の学生が礼拝に参加し、ハンドベルの演奏を披露してくれます。その後、福音メッセージを語ります。